

高等学校 令和8年度（1年次用）教科 理科 科目 化学基礎

教科： 理科 科目： 化学基礎 単位数： 2 単位
 対象年次組： 第 1年次 組～ 組
 教科担当者： （1組：安次嶺 （2組：進 ） （3組：安次嶺 （4組：安次嶺 （5組：進 ） （6組：進 ）
 使用教科書： （ 化基104-903 改訂版 新編 化学基礎）数研出版

教科 理科 の目標：
 【知識及び技能】 市民として必要な基礎知識をしっかりと身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】 科学的に物事を考える姿勢を身に付け、データの比較、検証、レポート作成等を身に付ける。
 【学びに向かう力、人間性等】 科学的に物事をとらえる姿勢を養い、物事を批判的に見る視点を見出し、多様な情報からよりよい判断を下せる姿勢をも似つける。

| 科目 化学基礎 | 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---------|---|---|---|
| | 物質とその変化についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 日常生活に関わる物質に関する知識を深め、科学的に物事をとらえる力を身に付ける。 | 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。また、レポート作成等を通じ、自分の考えを深めるとともに、他者に自分の考えを簡潔に伝える力を身に付ける。 | 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 日常生活の中に化学的な現象を見出し、考察する姿勢を身に付ける。 |

| 1学期 | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|---|---|---|---|---|---|----------|
| | <p>序章 化学の特徴</p> <p>【知識・技能】 ・設定したテーマについて情報を収集して仮説を立て、実験を実施することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・実験の結果を分析・考察することができる。 ・実験結果をレポートにまとめたり発表したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な出来事に疑問をもち、化学の探究の進め方に興味をもつ。</p> | <p>身近なものに含まれる物質を紹介する。物質を構成する成分として元素記号について学ぶ</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】 ・設定したテーマについて情報を収集して仮説を立てられる。 【思考・判断・表現】 ・実験の結果を分析・考察している。 ・実験結果をレポートにまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学の探究の進め方に興味をもつ。</p> | ○ | ○ | ○ | 2 |
| <p>第1章 物質の構成</p> <p>第1節 混合物と純物質</p> <p>【知識・技能】 ・混合物を分離する操作として、ろ過、蒸留、分留、昇華法、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどの方法をあげることができる。 ・実験にそれらの方法を適切に用いて混合物を分離することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・純物質と混合物の違いが何かを説明できる。 ・物質を分離する操作がどのようなものであるかを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりの物質が純物質と混合物に分類されることに興味をもつ。 ・身のまわりの混合物が、どのような純物質から構成されているかに興味をもつ。</p> | <p>物質のもつ固有の化学的性質、ならびにそれらと関連付けて種々の分離の方法を学ぶ。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】 ・混合物を分離する操作として、ろ過、蒸留、分留、昇華法、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどの方法があることを知っている。 【思考・判断・表現】 ・純物質と混合物の違いが何かを説明できる。 ・物質を分離する操作が何と何という性質の違いによるものか判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりのものが純物質と混合物に分類されることを生活と関連付けられる。 ・身のまわりの混合物の中に含まれる物質を挙げることができる。</p> | ○ | ○ | ○ | 2 | |
| <p>第2節 物質とその成分</p> <p>【知識・技能】 ・炭素、酸素、リン、硫黄の同素体をあげることができる。 ・代表的な成分元素について検出法を理解し、実験を実施することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・いろいろな物質を単体と化合物に分類することができる。 ・単体と化合物の違いについて説明することができる。 ・同素体とは何かを説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・同素体の違いに関心を持ち、実験に積極的に取り組める。</p> | <p>元素記号と関連付けて、単体と化合物の違いを具体例をもとに理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】 ・炭素、酸素、リン、硫黄の同素体をあげることができる。 ・代表的な成分元素について検出法を理解して。 【思考・判断・表現】 ・いろいろな物質を単体と化合物に分類することができる。 ・単体と化合物の違いについて、化学式から判断できる。 ・同素体とは何かを言葉で説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・硫黄の同素体の合成の実験に意欲的に取り組むことができる。</p> | ○ | ○ | ○ | 2 | |
| <p>第3節 物質の三態と熱運動</p> <p>【知識・技能】 ・物質の状態と熱運動の関係を理解している。 ・物質の三態について、熱運動の様子を踏まえて説明することができる。 ・物質変化と化学変化の違いを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・物質を加熱したり冷却したりしたときの温度変化を、グラフに表すことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子がいくつかの粒子から構成されていることに気づく。 ・同じ元素でも原子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。</p> | <p>水の蒸発など、身の回りの現象と関連付けて、物理変化についてまず理解させ、化学変化との違いを理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】 ・目で見る物質の状態と粒子の熱運動の関係を理解している。 ・物質の状態変化の名称を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・物理変化と化学変化の違いを理解し、簡単な物理変化について説明できる。 ・身の回りの現象を粒子の運動と関連付けて考えようとする。</p> | ○ | ○ | ○ | 2 | |
| 定期考査 | | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>第二章 物質の構成粒子</p> <p>第1節 原子とその構造</p> <p>【知識・技能】 ・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関わりについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・原子について、どのような粒子から構成されているかを説明することができる。 ・どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子がいくつかの粒子から構成されていることに気づく。 ・同じ元素でも原子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。</p> | <p>原子の構造、陽子・中性子ならびに原子核と電子の電気的性質を理解させる。</p> <p>電子配置を記入させ、価電子数と周期表との対応関係を理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】 ・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数の規則、またそれぞれの電荷・質量について理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子核と電子について、それぞれの構成粒子を構造と関連付けて表現できる。 ・どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りの同位体や原子力など、原子に関わる話題に関心を持つことができる。</p> | ○ | ○ | ○ | 2 | |
| <p>第2節 イオン</p> <p>【知識・技能】 ・イオンの化学式が正しく書け、化学式でかかれたイオンの名称がわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・単原子イオンの電子配置を示すことができる。 ・原子の電子配置から、その原子がどのようなイオンになりやすいかを判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子とイオンの違いについて疑問をもつ。</p> | <p>原子とことなり、イオンが電荷をもつことを理解させるとともに、安定なイオンの電子配置と電荷、周期表の位置の関係を理解する。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】 ・イオンの化学式が正しく書け、化学式でかかれたイオンの名称がわかる。 ・原子番号Zまでの単原子イオンの電子配置を示すことができる。 【思考・判断・表現】 ・周期表上の元素の位置と最寄りの希ガスから、その原子がどのようなイオンになりやすいかを判断できる。 ・原子とイオンの違いについて関心を持ち、身近な現象と関連付けようとする。</p> | ○ | ○ | ○ | 3 | |
| <p>第3節 元素の周期表</p> <p>【知識・技能】 ・元素の典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布および同族元素について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づき、価電子の数と化学的性質の関わりについて説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列について興味をもつ。</p> | <p>元素の周期表上の位置と陽性・陰性の関係を理解し、陽イオン、陰イオンと構成元素についても関係をつかませる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】 ・元素の典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性などの分布および同族元素について理解している。 【思考・判断・表現】 ・周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づき、価電子の数と化学的性質の関わりについて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列について興味をもつ。</p> | ○ | ○ | ○ | 3 | |
| <p>第三章 粒子の結合</p> <p>第1節 イオン結合とイオンからなる物質</p> <p>【知識・技能】 ・イオン結合を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結合の名称と組成式を書く方法を理解している。 ・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・イオン結合中のイオンの配置を示した模型およびイオン結晶の性質について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味をもつ。</p> | <p>イオン結晶の組成式の作り方、命名法の演習を行い、任意のイオン同士について化合物を正しく記述させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】 ・イオン結合を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結合の名称と組成式を書く方法を理解している。 ・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。 【思考・判断・表現】 ・イオン結晶中のイオンの配置を示した模型およびイオン結晶の性質について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりにあるイオン結晶の性質に興味をもつ。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| 定期考査 | | | | ○ | ○ | | 1 |

| | | | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|---|---|---|
| 2 学 期 | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有結合とはどのような結合であるか説明できる。 ・さまざまな分子を分子式や電子式、構造式で表しその構造を考えることができる。 【思考・判断・表現】 ・原子間の共有結合を考慮することによって分子の構造を予想することができる。 ・分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できる。 ・分子のまわりにある分子からなる物質の成りたちについて興味をもち、イオン結晶との性質の違いについて考えることができる。 | <p>イオンとの結合様式の違いを、電子式と関連付けて記述できるようにする。</p> <p>分子模型作成を通じ、共有結合に方向性があることを学ぶ。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有結合とはどのような結合であるか説明できる。 ・さまざまな分子を分子式や電子式、構造式で表しその構造を考えることができる。 【思考・判断・表現】 ・原子間の共有結合を考慮することによって分子の構造を予想することができる。 ・分子の形を予想して、極性分子と無極性分子に分類できる。 ・分子のまわりにある分子からなる物質の成りたちについて興味をもち、イオン結晶との性質の違いについて考えることができる。 | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有結合の結晶の構造やその性質の関係を理解している。 ・ダイヤモンドや黒鉛中の原子の結合を、分子模型などを使って表せる。 【思考・判断・表現】 ・ダイヤモンドと黒鉛の性質の違いを、共有結合の強さ、結晶構造、電子の移動をもとに説明できる。 ・分子結晶との違いについて説明できる。 ・身近な非金属元素からなる物質について、共有結合の結晶であるものを挙げることができる。 | <p>ダイヤモンドなどの分子模型を見せ、通常の小さい分子と結合様式が異なることを理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有結合の結晶の構造やその性質の関係を理解している。 ・ダイヤモンドや黒鉛中の原子の結合を、分子模型などを使って表せる。 【思考・判断・表現】 ・ダイヤモンドと黒鉛の性質の違いを、共有結合の強さ、結晶構造、電子の移動をもとに説明できる。 ・分子結晶との違いについて説明できる。 ・身近な非金属元素からなる物質について、共有結合の結晶であるものを挙げることができる。 | ○ | ○ | ○ | 3 | |
| | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属イオン結晶や共有結合の結晶と同じように組成式で表されることを理解している。 ・金属の物理的性質や実験で示すことができる。 【思考・判断・表現】 ・金属特有の性質が自由電子によるものであることに気づく。 ・金属結合および金属結晶の性質について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・金属特有の性質に興味をもち、 | <p>金属結晶のモデルから、自由電子と展性・延性・電気伝導度の関係を理解させる。また、実際の金属を観察させ、結晶モデルと実物の相関を理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属イオン結晶や共有結合の結晶と同じように組成式で表されることを理解している。 ・金属の物理的性質や実験で示すことができる。 【思考・判断・表現】 ・金属特有の性質が自由電子によるものであることに気づく。 ・金属結合および金属結晶の性質について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・金属特有の性質に興味をもち、 | ○ | ○ | ○ | 3 | |
| | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。 ・原子の相対質量をもとに、分子の質量を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・異なる物質の原子が混在する場合、その平均の質量を計算方法を思いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子1個がいかに小さなものであるかを実感する。 | <p>米粒やイクラなどを例に、物質も多数の粒子の集合体であることを理解させ、原子の質量を比べて考える必要性を理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子量・分子量・式量により、物質の質量比を表すことができることを理解している。 ・絶対質量と相対質量の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子の質量と相対質量の違いを理解している。 ・原子の質量を比べて考える必要性を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・絶対質量から相対質量を求める考え方を学び、科学的思考に関心をもち、 | ○ | ○ | ○ | 3 | |
| | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・molが粒子の集団を表す概念であることを、問題演習、生徒実験を通じて理解させる。 【思考・判断・表現】 ・molが粒子の集団を表す概念であることを理解できる。 ・同圧・同量の気体の場合、1molの体積が共通であることを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・molが粒子の集団を表す概念であることを理解できる。 ・同圧・同量の気体の場合、1molの体積が共通であることを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことの利便性を理解して計算を行うことができる。 | <p>molが粒子の集団を表す概念であることを、問題演習、生徒実験を通じて理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・molが粒子の集団を表す概念であることを理解できる。 ・同圧・同量の気体の場合、1molの体積が共通であることを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・molが粒子の集団を表す概念であることを理解できる。 ・同圧・同量の気体の場合、1molの体積が共通であることを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことの利便性を理解して計算を行うことができる。 | ○ | ○ | ○ | 4 | |
| | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濃度の表し方について、いろいろな方法があることを理解している。 ・目的の濃度の水溶液を調製することができる。 【思考・判断・表現】 ・2種類の濃度の求め方を理解し、その換算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・溶液の濃さの表し方について興味をもち、 | <p>化学反応の量的関係を理解するにはモル濃度が必要であること、目的によって用いる濃度が異なることを、演習を通じ理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学で扱う濃度が複数ありことを理解する。 ・目的の濃度の水溶液を調製することができる。 【思考・判断・表現】 ・質量パーセント濃度では、同じ濃度でも含まれる粒子数が異なることを理解している。 ・2種類の濃度の求め方を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・溶液の濃さの表し方について、身近な溶液をもとに考えることができる。 | ○ | ○ | ○ | 3 | |
| | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学反応における、物質、粒子の数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。 ・化学反応式を用いて量的な計算を行うことができる。 ・原子数の発見、分子説の発見といった物質探検の歴史や化学の基礎知識を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・正しい化学反応式が書ける。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化でとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多くの化学反応式で表されることとわかる。 ・化学反応式をもとに量的な関係を確かめることができる。 | <p>化学反応式の係数比が物質質量比と等しくなることを理解させる。</p> <p>化学の基本法則から、目に見えない原子・分子の存在を予測できるようにした過程を示し、科学的思考の重要性を理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学反応における、物質、粒子の数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。 ・化学反応式を用いて量的な計算を行うことができる。 ・原子数の発見、分子説の発見といった物質探検の歴史や化学の基礎知識を説明できる。 【思考・判断・表現】 ・正しい化学反応式が書ける。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化でとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多くの化学反応式で表されることとわかる。 ・化学反応式をもとに量的な関係を確かめることができる。 | ○ | ○ | ○ | 3 | |
| | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸・塩基の強さ、電離度などの考え方が異なることを理解し、説明できる。 ・H⁺の受容が酸性に付与している反応を確かめることができる。 【思考・判断・表現】 ・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・水素イオン濃度と水酸化イオン濃度の関係を用いて、水酸化イオン濃度からpHを求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・水もまた一部が電離しているということに興味をもち、 | <p>中学までに学習した酸の性質・塩基の性質を復習し、さまざまな酸・塩基に共通する化学種があることを理解し、酸・塩基を化学的にとらえられるようにする。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸・塩基の強さ、電離度などの考え方が異なることを理解し、身近な酸と関連付けて説明できる。 【思考・判断・表現】 ・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・水素イオン濃度、水酸化イオン濃度からpHを求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・水もまた一部が電離しているということに興味をもち、 | ○ | ○ | ○ | 3 | |
| | 定期考査 | | | | ○ | ○ | ○ | 1 |
| | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水溶液中のH⁺の濃度をpHで表す方法を理解している。 ・身のまわりの物質の水溶液のpHを知る方法を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・水素イオン濃度と水酸化イオン濃度の関係を用いて、水酸化イオン濃度からpHを求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・水もまた一部が電離しているということに興味をもち、 | <p>水にもごくわずかであるがH⁺とOH⁻が存在することを理解させ、液性が水素イオン濃度で表せることを理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水溶液中のH⁺の濃度をpHで表す方法を理解している。 ・身のまわりの物質の水溶液のpHを知る方法を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・pHの値から酸性、塩基性の強弱が判断できる。 ・水素イオン濃度、水酸化イオン濃度からpHを求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・水もまた一部が電離しているということに興味をもち、 | ○ | ○ | ○ | 3 | |
| <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中和反応を化学反応式で表すことができる。 ・酸性塩・塩基性塩・正塩などの分類について理解している。 【思考・判断・表現】 ・塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中和反応が1段階ずつ進むことに気づく。 | <p>身近な中和の例をもとに、中和反応を量的に整理する必要性を理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中和反応を化学反応式で表すことができる。 ・完全な中和と不完全な中和があることを理解している。 ・塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中和反応が1段階ずつ進むことに気づく。 | ○ | ○ | ○ | 4 | | |
| <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未知の酸や塩基の濃度を、既知の塩基や酸を用いた中和滴定により決定することができる。 ・中和滴定で使用するホールビペット、ビュレット、メスフラスコなどの器具を正しく扱うことができる。 【思考・判断・表現】 ・中和の量的関係を数式で表すことができる。 ・中和滴定における滴定度、中和点、使用できる指示薬について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な酸・塩基の水溶液も、中和滴定によって濃度が求められることに気づく。 | <p>中和滴定の実験を通じ、中和の量的関係を理解させるとともに、実験操作、器具の扱いを通じ、化学的な考え方について理解を深める。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未知の酸や塩基の濃度を、既知の塩基や酸を用いた中和滴定により決定することができる。 ・中和滴定で使用するホールビペット、ビュレット、メスフラスコなどの器具を正しく扱うことができる。 【思考・判断・表現】 ・中和の量的関係を数式で表すことができる。 ・中和滴定における滴定度、中和点について理解している。また、変色域と関連付けで使用できる指示薬について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な酸・塩基の濃度を求めることによるメリットを挙げることができる。 | ○ | ○ | ○ | 4 | | |
| 定期考査 | | | | ○ | ○ | ○ | 1 | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|----|---|
| 3 学 期 | <p>第三編 酸化還元反応</p> <p>第一節 酸化還元</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子の授受により酸化還元反応が説明できることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応に必ず電子の移動が伴うことに気づく。 酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようにする。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようにする。 | <p>酸化・還元の定義を理解し、化学結合と電子の授受・酸化還元を理解を深める。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元が酸素・水素・電子の授受によって説明されることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応では、酸化と還元は必ず同時に起こることを理解している。 酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようにする。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子のやりとりを軸に、酸化と還元が常に同時に起こることを理解できる。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | <p>第二節 酸化剤と還元剤</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の量的関係を計算により求めることができる。 酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の化学反応式を、酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくれるようになる。 酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを電子の授受に着目して説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考慮することによって完成させることができる。 | <p>酸化剤と還元剤の反応は電子の授受の釣り合うときちょうど成り立つことを、酸化還元反応の化学反応式とあわせて理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の量的関係を計算により求めることができる。 酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の化学反応式を、酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくれるようになる。 酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはたらきを電子の授受に着目して説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応の複雑な化学反応式も、そのもととなる反応式と電子の授受を考慮することによって完成させることができる。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>第三節 金属の酸化還元反応</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常の酸と反応する金属と、王水や酸化力をもつ酸とのみ反応する金属との違いを理解している。 金属のイオン化傾向を利用して、金属を加工できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属のイオン化傾向を電子を放出する酸化還元反応であることに気づく。 金属の性質をイオン化傾向で考えることができるようになる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属の性質をイオン化傾向で考えることができるようになる。 | <p>身の回りの金属のさびにくさと酸化のされやすさと関連付けて、イオン化傾向を理解する。イオン化傾向と周期表上の位置を関連付ける。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常の酸に溶けない酸と溶ける酸の違いをイオン化傾向の関連付けて理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属のイオン化傾向を電子を放出する酸化還元反応であることに気づく。 金属単体の性質の違いをイオン化傾向の差を踏まえてで考えることができるようになる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な金属の性質とイオン化傾向の関係を興味を持って、アルミミット反応に関心を持つ。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | <p>第四節 酸化還元反応の利用</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な電池をつくることができる。 金属の製錬の方法について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池や金属の製錬が酸化還元反応を利用したものであることに気づく。 電池の基本的なしくみについて、イオン化傾向と電子の授受に着目して説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。 | <p>ダニエル電池やボルタ電池を制作し、イオン化傾向と関連付けて電子の移動から電池の仕組みを理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2種類の金属を用いて、簡単な電池をつくることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池や金属の製錬が酸化還元反応を利用したものであることに気づく。 電池の基本的なしくみについて、イオン化傾向と電子の流れに着目して説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池の発展の歴史について、化学的性質と関連付けて理解できる。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>終章 化学が拓く世界</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学基礎で学習した内容と環境問題との結びつきについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの暮らしを支える技術と化学の結びつきについて説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品保存や浄水場、化粧品などの暮らしを支える技術と化学の結びつきについて興味をもつ。 | <p>近年のトピックと関連付けて、化学が環境問題や社会と密接にかかわっていることを理解させる。</p> <p>教科書・問題集・演示実験・生徒実験・実験動画</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学基礎で学習した内容と社会との結びつきについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学と生活の結びつきについて理解し、身の回りのものの簡単な性質について化学的に説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なものと化学の関連を挙げることができる。 | ○ | ○ | ○ | 3 | |
| | | | | | | 合計 | |
| | | | | | | 78 | |